

ケアマネジャーアンケート調査 結果抜粋

留意点

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりです。

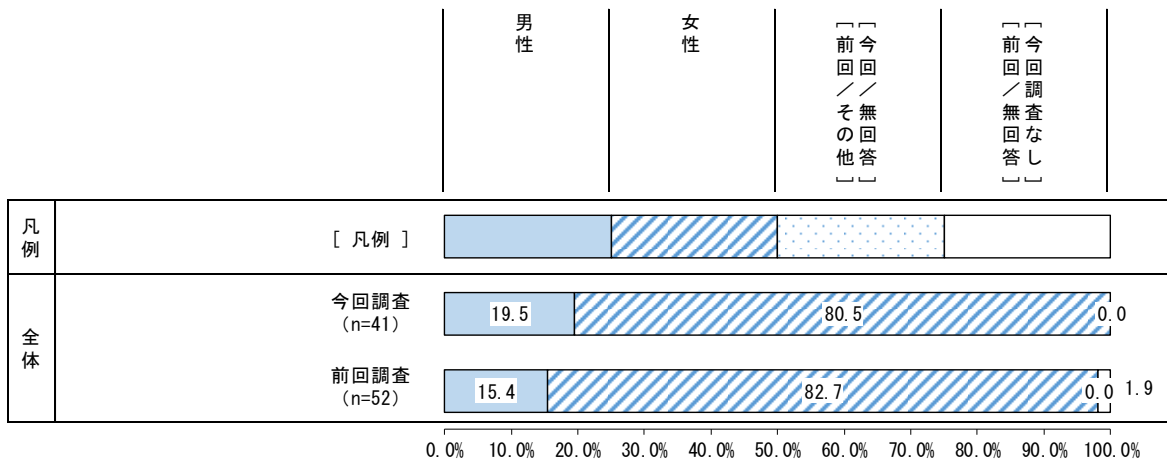
- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載しています。また、不明 (無回答) はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 今回調査の新規設問 (前回調査で設問がない場合) は、設問文の前に「新」と記載しています。

調査対象者本人について

- 問1 あなたの性別をご記入ください。(○は1つ)

○ 性別について、「男性」が19.5%、「女性」が80.5%となっています。

【性別】

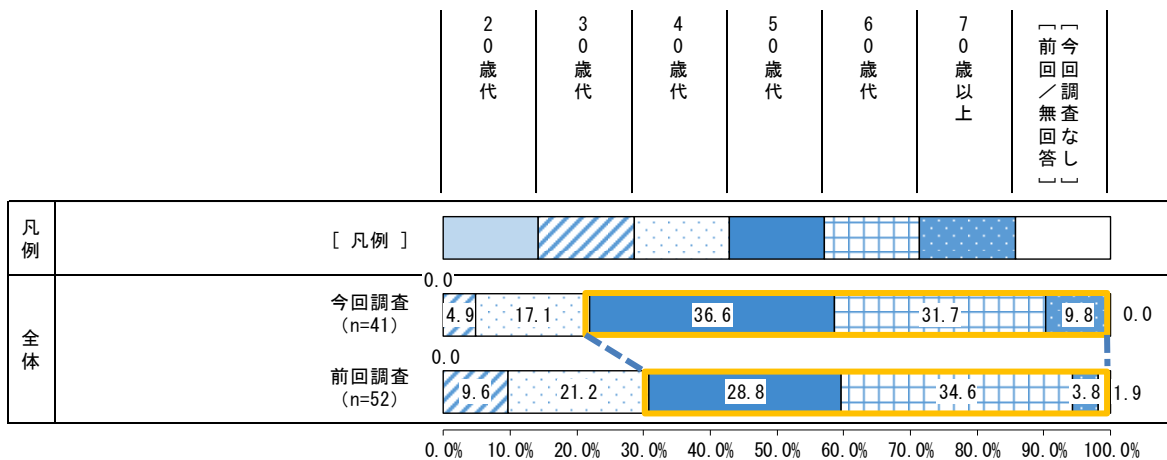


- 問2 あなたの年齢をご記入ください。(○は1つ)

○ 年齢について、「50歳代」が36.6%で最も高く、次いで「60歳代」が31.7%、「40歳代」が17.1%となっています。

○ 前回調査と比較し、50歳代以上の割合が高くなっています。(67.2%→78.1%)

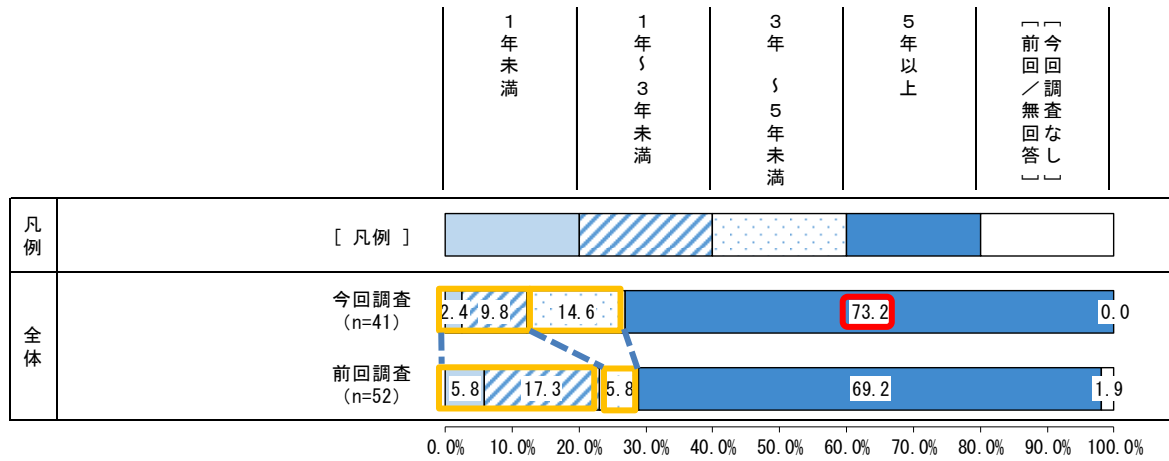
【年齢】



●問3 ケアマネジャーとしての経験年数を選択してください。(○は1つ)

- 経験年数について、「5年以上」が73.2%で最も高く、次いで「3～5年未満」が14.6%、「1年～3年未満」が9.8%となっています。
- 前回調査と比較し、3年未満の割合が低くなり、3年～5年未満の割合が高くなっています。

【経験年数】

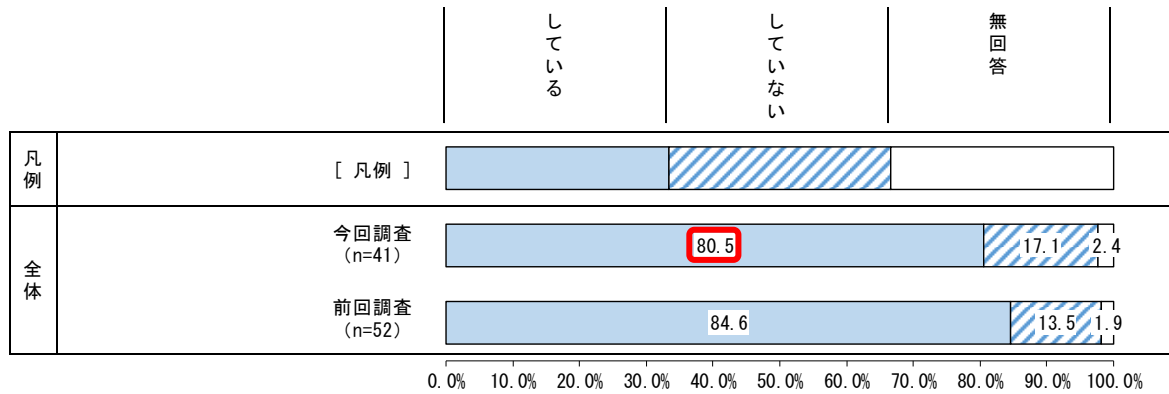


ケアプランについて

- 問11 ケアプランを作成する際、地域の居場所、サロン等の地域資源やインフォーマルサービスを活用していますか。(○は1つ)

○ 地域資源・インフォーマルサービスの活用状況について、「している」が80.5%となっています。

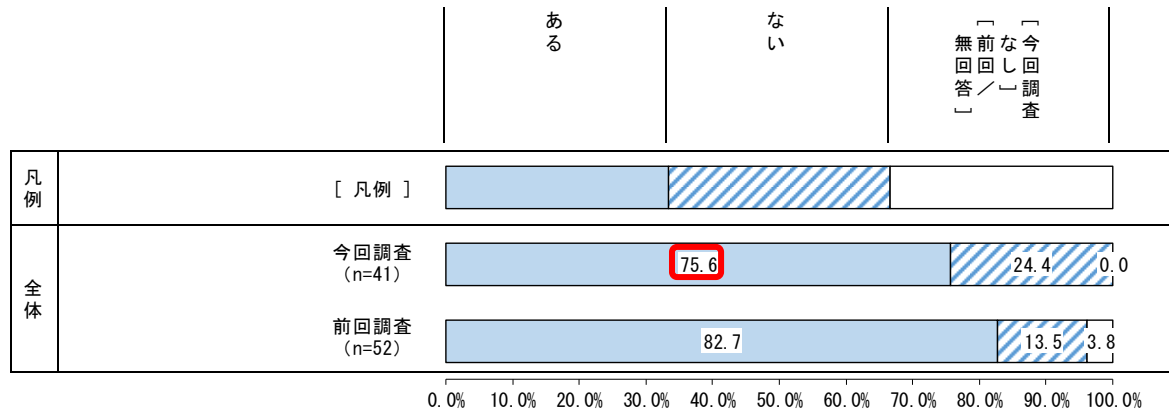
【地域資源・インフォーマルサービスの活用状況】



- 問13 ケアプランを作成する上で、困ることはありますか。(○は1つ)

○ ケアプラン作成における困難感の有無について、「ある」が75.6%となっています。

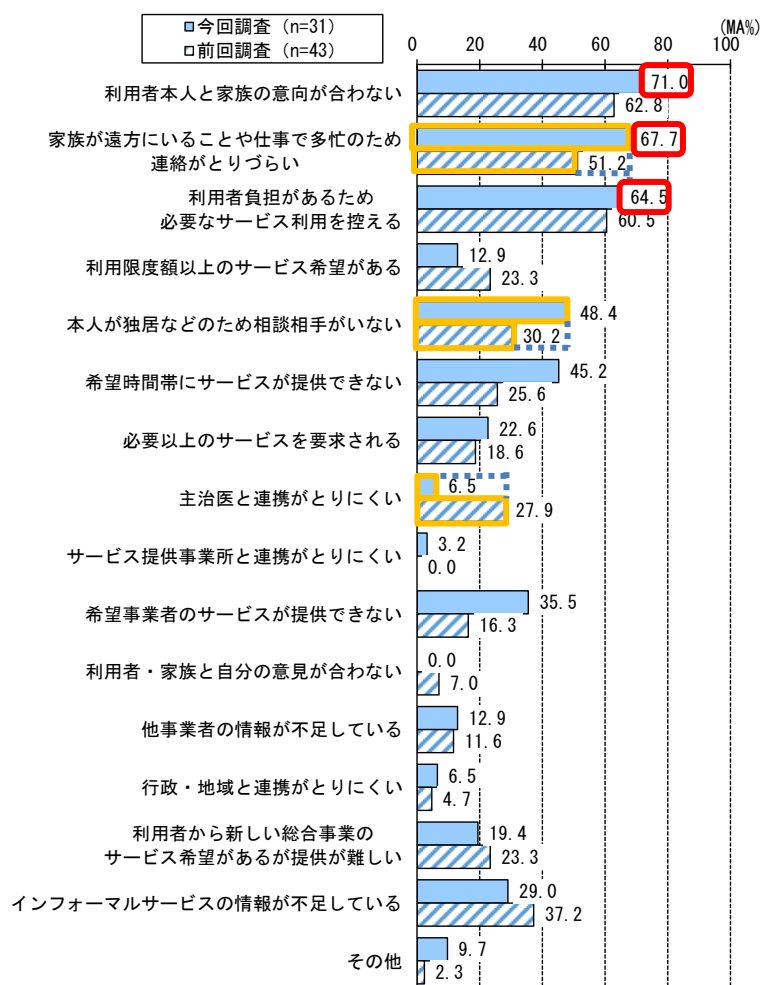
【ケアプラン作成における困難感の有無】



●問13-1 【問13で「1. ある」と回答された方】どのようなことで困ることがありましたか。(いくつでも○)

- ケアプラン作成における困難内容について、「利用者本人と家族の意向が合わない」が71.0%で最も高く、次いで「家族が遠方にいることや仕事で多忙のため連絡がとりづらい」が67.7%、「利用者負担があるため必要なサービス利用を控える」が64.5%となっています。
- 前回調査と比較し、「主治医と連携がとりにくい」が前回より21.4%低くなっています。
- また、「本人が独居などのため相談相手がいない」が前回比で18.2%高く、「家族が遠方にいること等のため連絡がとりづらい」が前回比で16.5%高くなっています。

【ケアプラン作成における困難内容】

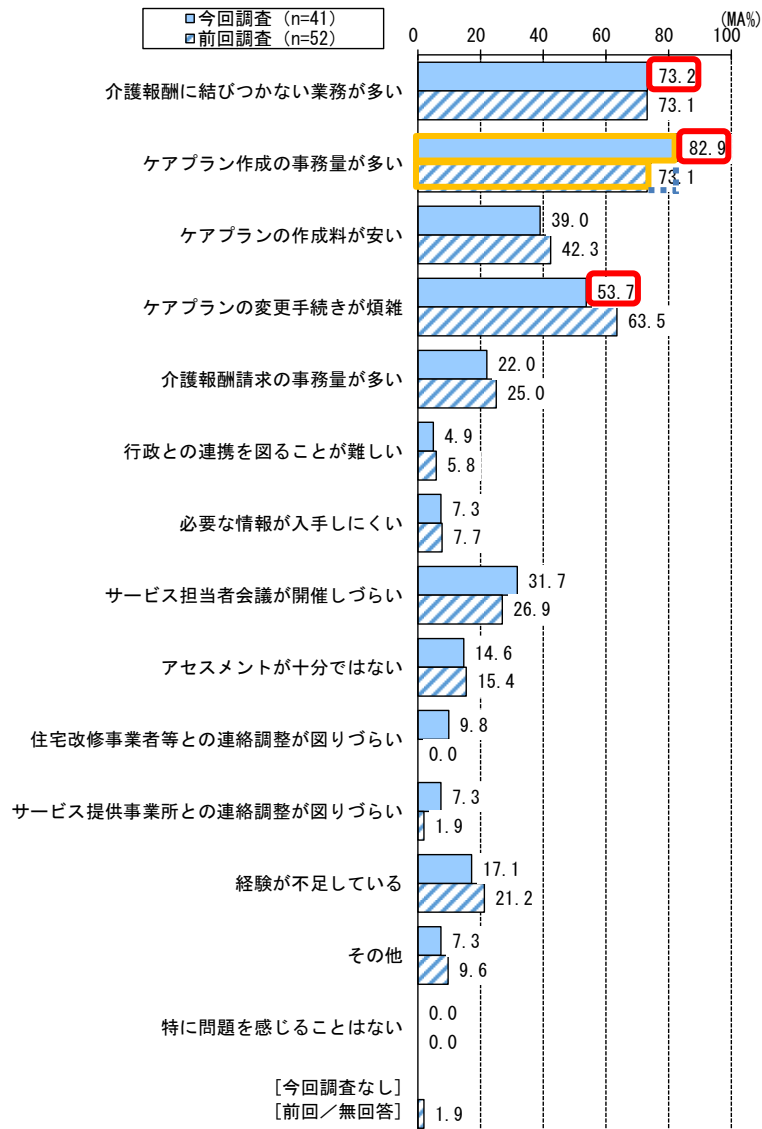


介護保険サービスについて

- 問15 自分自身や他のケアマネジャーが円滑に業務を行う上での課題は何ですか。(いくつでも○)

- 業務上の課題について、「ケアプラン作成の事務量が多い」が 82.9%で最も高く、次いで「介護報酬に結びつかない業務が多い」が 73.2%、「ケアプランの変更手続きが煩雑」が 53.7%となっています。
- 前回調査と比較して、「ケアプラン作成の事務量が多い」の割合が高くなっています。

【業務上の課題】

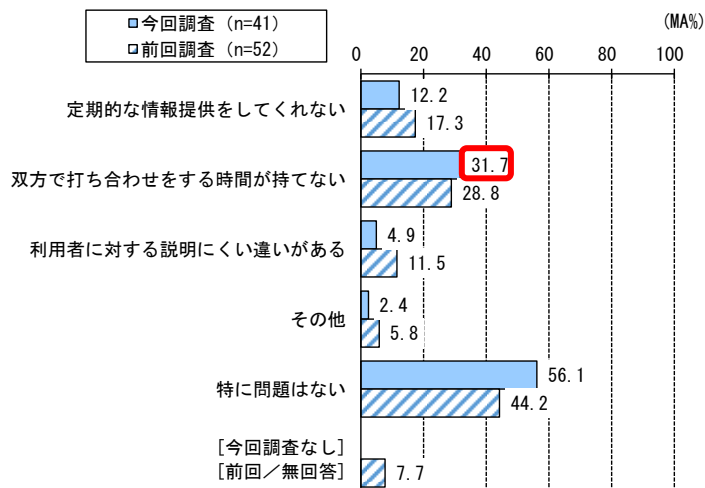


他機関・団体等との連携について

- 問18 サービス提供事業所との関係における課題はどのようなことですか。(いくつでも○)

○ サービス提供事業所との関係における課題について、「特に問題はない」が56.1%で最も高く、次いで「双方で打ち合わせをする時間が持てない」が31.7%となっています。

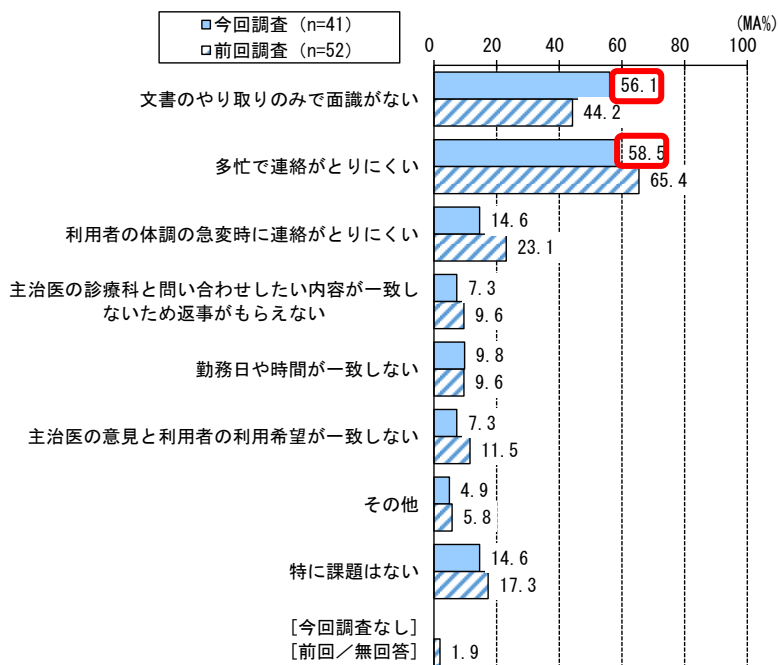
【サービス提供事業所との関係における課題】



- 問21 主治医との連携を図る上での課題は何ですか。(いくつでも○)

○ 主治医との連携における課題について、「多忙で連絡がとりにくい」が58.5%で最も高く、次いで「文書のやり取りのみで面識がない」が56.1%となっています。

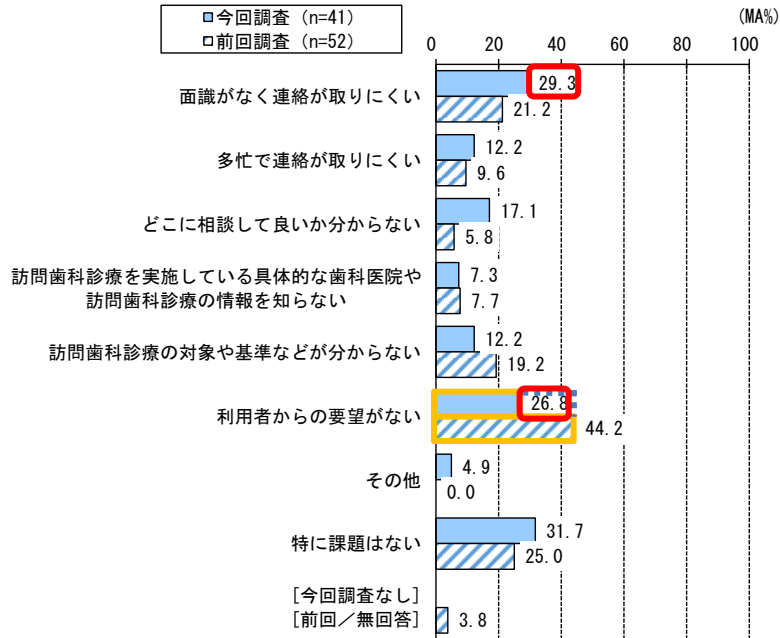
【主治医との連携における課題】



●問24 口腔ケアに関して歯科医師との連携を図る上での課題は何ですか。(いくつでも○)

○ 歯科医師との連携における課題について、「特に課題はない」が31.7%で最も高く、次いで「面識がなく連絡が取りにくい」が29.3%、「利用者からの要望がない」が26.8%となっています。

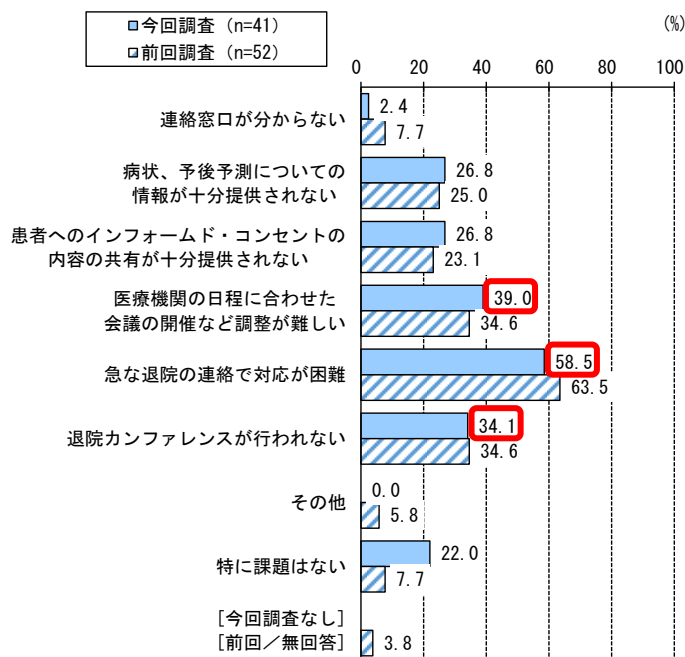
【歯科医師との連携における課題】



●問26 入退院において入院先の病院との連携を図る上での課題は何ですか。(いくつでも○)

○ 入院先の病院との連携課題について、「急な退院の連絡で対応が困難」が58.5%で最も高く、次いで「医療機関の日程に合わせた会議の開催など調整が難しい」が39.0%、「退院カンファレンスが行われない」が34.1%となっています。

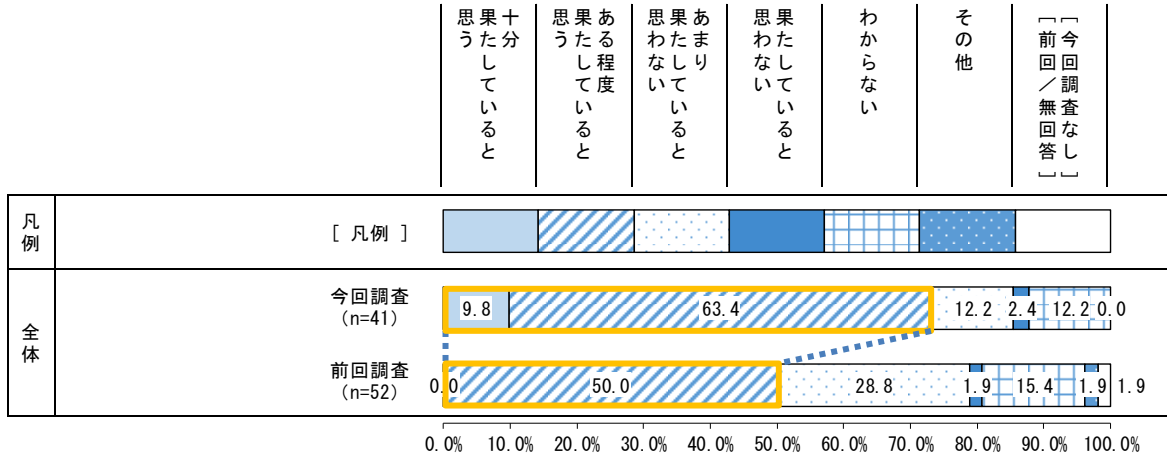
【入院先の病院との連携課題】



- 問27 現在、地域包括支援センターが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取組を行っていますが、その役割を果たしていると思いますか。(○は1つ)

- 地域包括支援センターの役割遂行評価について、「ある程度果たしていると思う」が63.4%で最も高く、次いで「あまり果たしていると思わない」「わからない」が12.2%、「十分果たしていると思う」が9.8%となっています。
- 前回調査と比較し、「十分果たしている」または「ある程度果たしている」の割合が高くなっています。(5割→7割超)

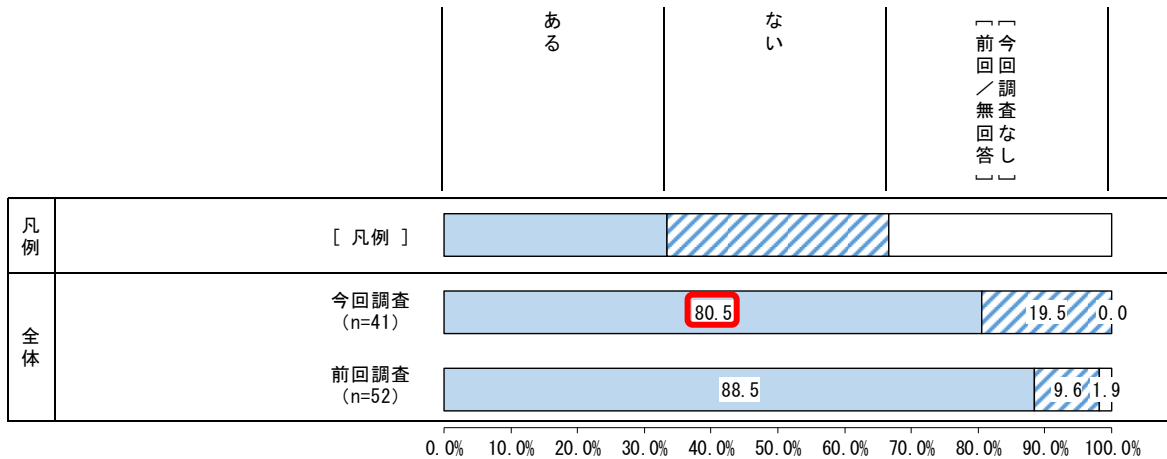
【地域包括支援センターの役割遂行評価】



- 問28 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことがありますか。(○は1つ)

- 地域包括支援センターへの相談経験について、「ある」が80.5%となっています。

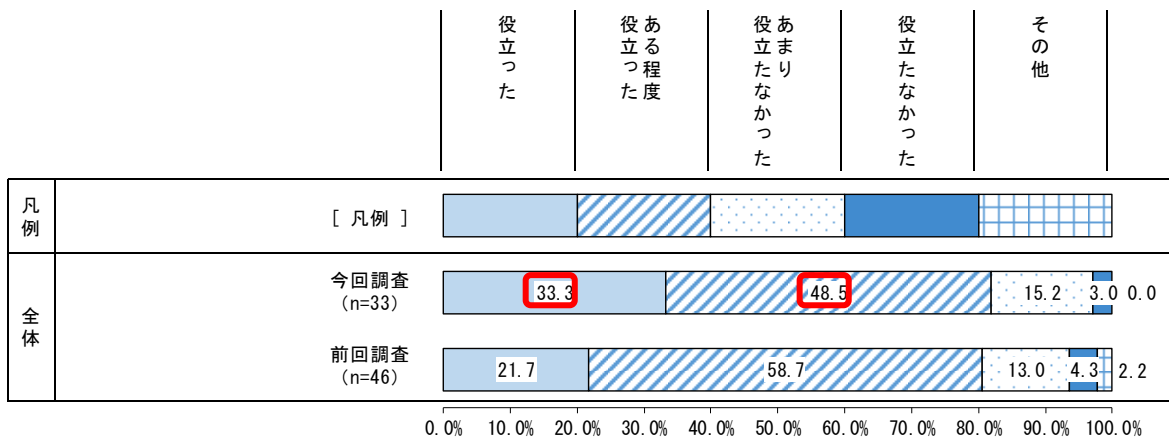
【地域包括支援センターへの相談経験】



- 問28-1 【問28で「1. ある」と回答された方】相談したことによって、問題解決に役立ちましたか。(○は1つ)

○ 困難事例相談による問題解決の効果について、「役に立った」または「ある程度役立った」が8割超となっています。

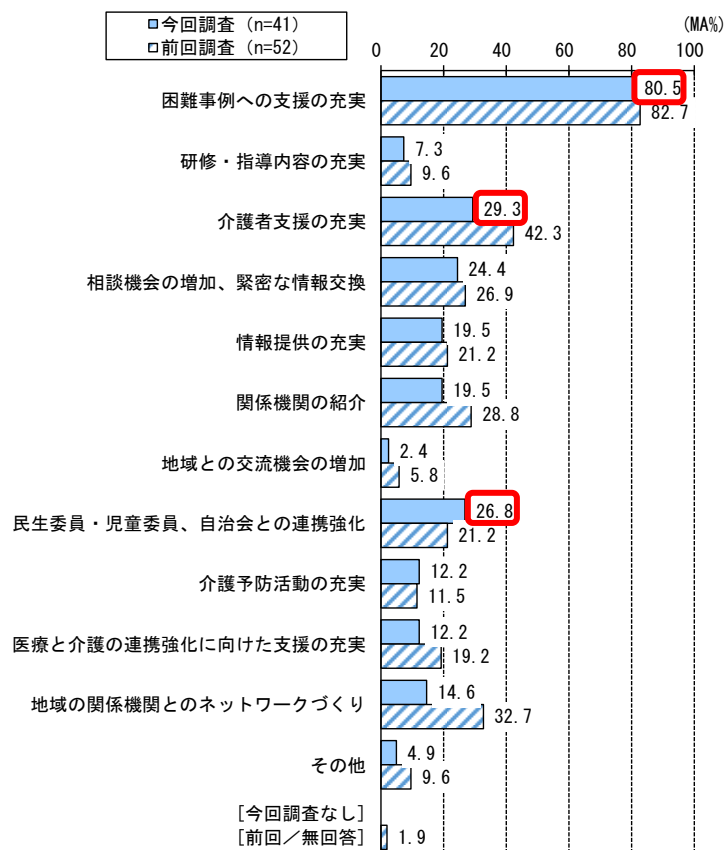
【困難事例相談による問題解決の効果】



- 問29 地域包括支援センターに機能強化してほしいと思うことは何ですか。(いくつでも○)

○ 地域包括支援センターに機能強化してほしいことについて、「困難事例への支援の充実」が80.5%で最も高く、次いで「介護者支援の充実」が29.3%、「民生委員・児童委員、自治会との連携強化」が26.8%となっています。

【地域包括支援センターに機能強化してほしいこと】



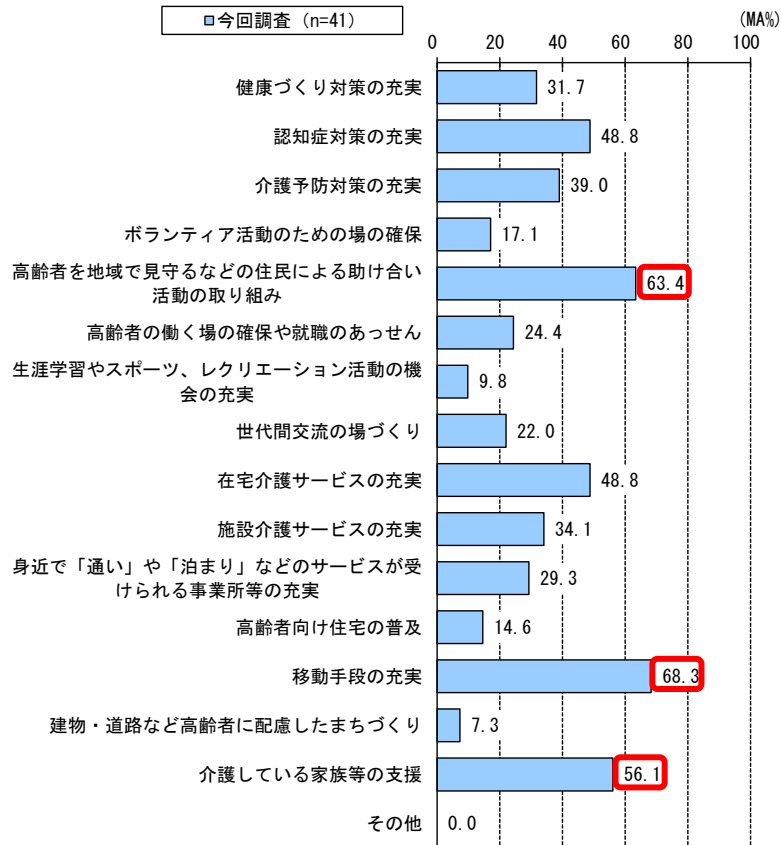
高齢者施策全般について

新

●問31 高齢者への福祉サービスで守山市が充実すべきサービスや支援活動は何ですか。(いくつでも○)

○ 市が充実すべきサービス・支援について、「移動手段の充実」が68.3%で最も高く、次いで「高齢者を地域で見守るなどの住民による助け合い活動の取り組み」が63.4%、「介護している家族等の支援」が56.1%となっています。

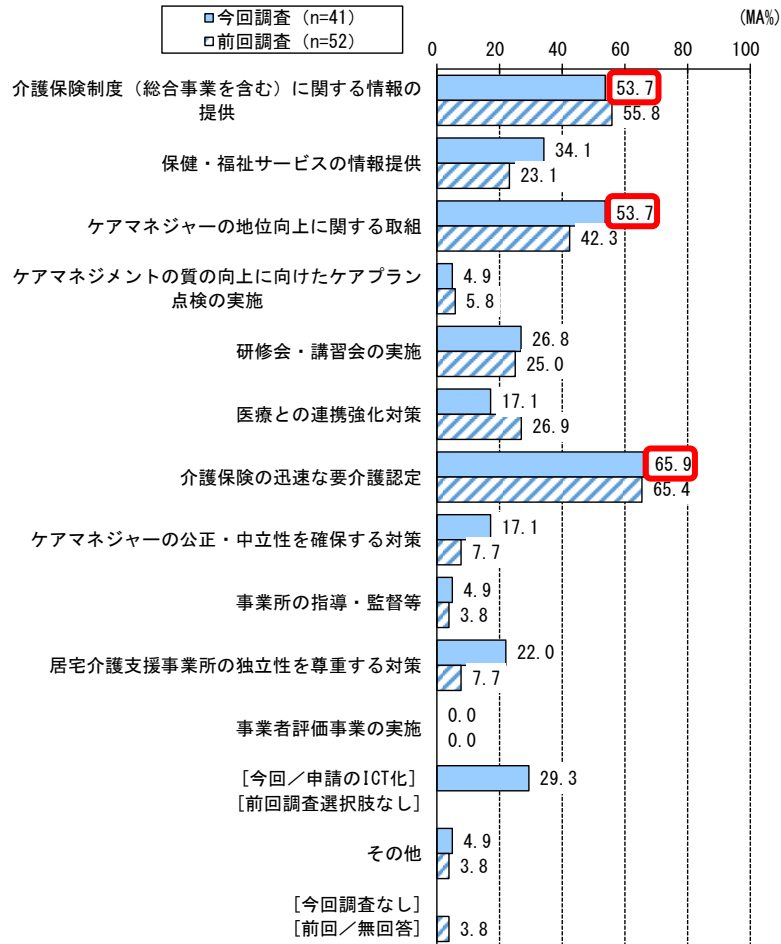
【市が充実すべきサービス・支援】



●問32 ケアマネジャーへの対応として、行政に期待することは何ですか。(いくつでも○)

○ 市に期待するケアマネジャーへの対応について、「介護保険の迅速な要介護認定」が65.9%で最も高く、次いで「介護保険制度（総合事業を含む）に関する情報の提供」「ケアマネジャーの地位向上に関する取組」が53.7%となっています。

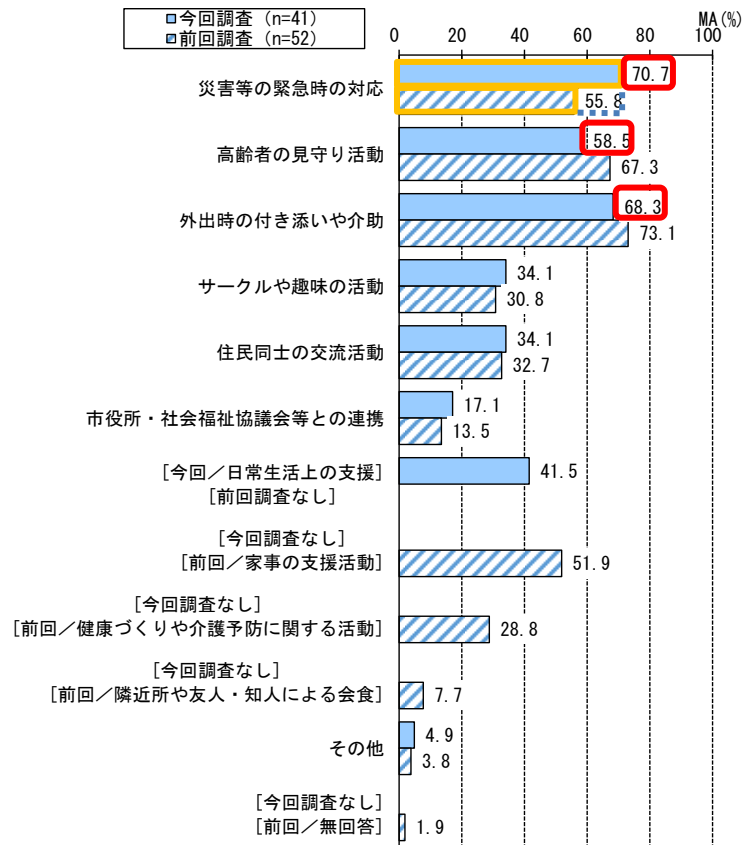
【市に期待するケアマネジャーへの対応】



●問33 インフォーマルサービスの充実に向けて、地域にどのような活動があれば良いと思いますか。(いくつでも○)

- 地域にあるとよい活動について、「災害等の緊急時の対応」が70.7%で最も高く、次いで「外出時の付き添いや介助」が68.3%、「高齢者の見守り活動」が58.5%となっています。
- 前回調査と比較し、「災害等の緊急時の対応」の割合が高くなっています。

【地域にあるとよい活動】

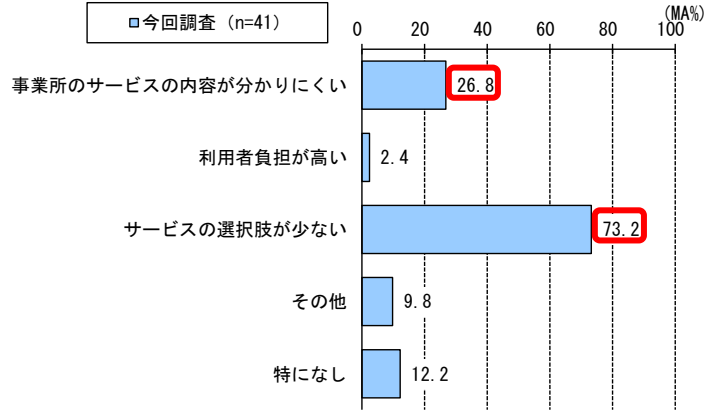


新

●問34 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスについて、課題に思うことは何ですか。(いくつでも○)

○ 総合事業サービスの課題について、「サービスの選択肢が少ない」が73.2%で最も高く、次いで「事業所のサービスの内容が分かりにくい」が26.8%となっています。

【総合事業サービスの課題】

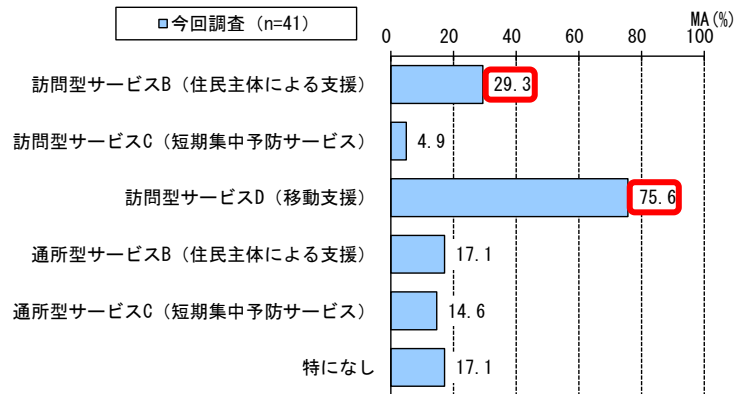


新

●問35 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスについて、今後どのような分野が必要と考えますか。(いくつでも○)

○ 総合事業で今後必要とされる分野について、「訪問型サービス D (移動支援)」が75.6%で最も高く、次いで「訪問型サービス B (住民主体による支援)」が29.3%となっています。

【総合事業で今後必要とされる分野】



●問36 今後、認知症施策を進めていく上で、守山市は特にどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(上位3つまで○をつけてください)

○ 守山市が重点を置くべき認知症施策について、「家族の精神的な負担を緩和する取組」が61.0%で最も高く、次いで「認知症に関する正しい理解を広める取組」が43.9%、「認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組」「近隣住民などによる見守り」が26.8%となっています。

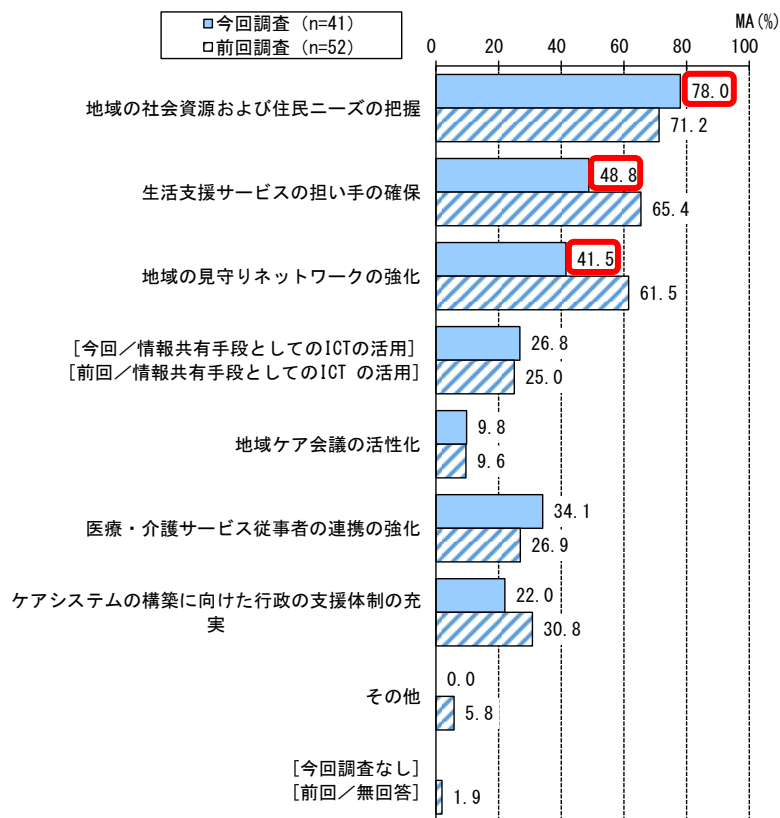
【守山市が重点を置くべき認知症施策】



●問37 地域包括ケアシステムを構築するために必要だと思われるものは何ですか。(いくつかでも○)

○ 地域包括ケアシステム構築に必要なことについて、「地域の社会資源および住民ニーズの把握」が78.0%で最も高く、次いで「生活支援サービスの担い手の確保」が48.8%、「地域の見守りネットワークの強化」が41.5%となっています。

【地域包括ケアシステム構築に必要なこと】

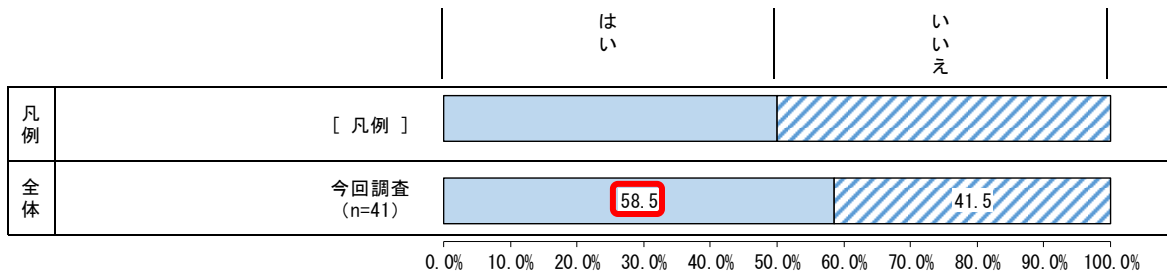


新

- 問38 人生の最終段階の利用者に対して、人生会議（ACP）について取り組んでいますか。（○は1つ）

○ 人生会議（ACP）への取り組み状況について、「はい」が58.5%となっています。

【人生会議（ACP）への取り組み状況】

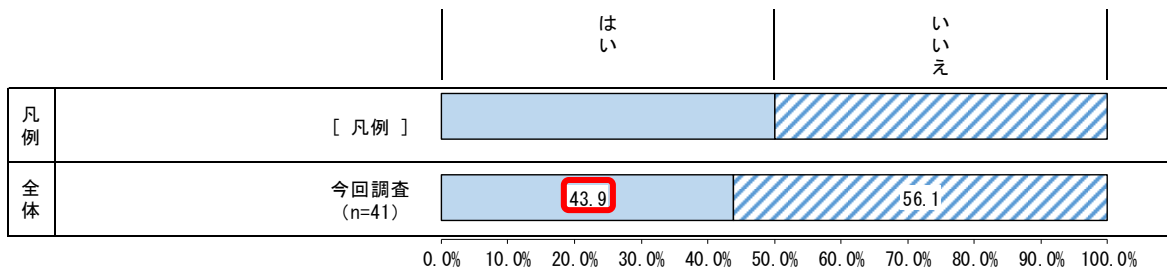


新

- 問39 ケアプランの作成や本人の意思決定支援におけるツールとして、エンディングノートを活用していますか。（○は1つ）

○ エンディングノートの活用状況について、「はい」が43.9%となっています。

【エンディングノートの活用状況】



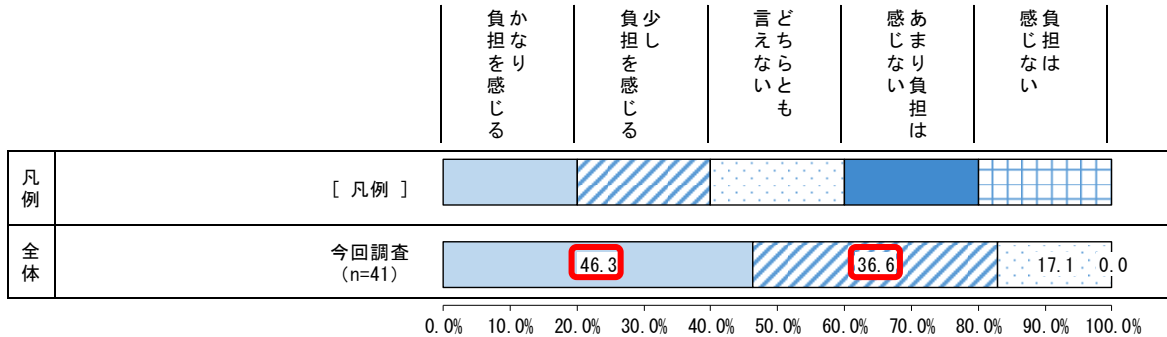
ケアマネジャー業務の負担について

新

●問42 現在の業務全体の負担感をどのように感じていますか。(○は1つ)

○ 業務全体の負担感について、「かなり負担を感じる」もしくは「少し負担を感じる」が8割超となっています。

【業務全体の負担感】



新

●問43 業務負担の主な要因は何だと感じますか。(いくつでも○)

○ 業務負担の主な要因について、「作成書類の多さ」が75.6%で最も高く、次いで「ケアマネジメント業務以外の対応」が68.3%、「資格更新への対応」が61.0%、「利用者・利用者家族からの要望への対応」が56.1%となっています。

【業務負担の主な原因】

